

令和7年度 第4回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年1月29日（木） 午後1時30分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代、坂井 久司
鈴木 公寿、正久 達、高塚 朋宣
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松 還（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）
堀部 純子（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 堀部 純子
- 8 議長の選出

第1回学校運営協議会において、副会長が継続して務めることが承認されたため、前回と同様に松井委員が議長を務めることとなった。

9 熟議事項

（1）学校関係者評価

- ・教育活動・教育課程全般について
- ・生徒指導について

（2）次年度の学校運営の基本方針について

（3）学校運営協議会の自己評価について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

議長の指示により、石田より学校関係者評価について、生徒・保護者に対するアンケート結果を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●学校の教育目標に向けてどう動くか、生徒たちをどうやって育てていくのかを考えていくのがよい。アンケート結果に合わせて、あとからのつじつまあわせはよくないが、今回の結果は筋が通っていてすばらしいと思う。（正久委員）

●全力でうちこめるものがあるかという質問に対して、ほぼ8割の生徒が、あてはまる/ややあてはまると回答しているのが好印象である。中学の3年間で貴重だということに気づくきっかけは、先生や家庭の役割だと実感している。この先それぞれのステージで、自分が何をやらなければいけないかを考えて、頑張っていってほしいと思う。（高塚委員）

●目標に向かって指導していくのが基本だが、型にはめすぎるのも疑問に思う。目標と違ったことが起きた時の対応がなされているかが重要ではないか。アンケートの結果は、全体的にいい流れだと思う。(坂井委員)

●昨年に引き続き、自ら進んで物事に取り組む意識が薄いという問題が、今年も出てくるのではないか。(松井委員)

→光が丘中だけでなく全般的にその傾向があるが、3年生は解決力を発揮していたと思う。今後の生活の中で、さらにその力が出てくるのではないかと考えている。(石田)

議長の指示により、教頭より生徒指導について、認知件数を含めたいじめへの対応と、不登校生徒の実態と対応を中心に、概要が伝えられたあと、下記のような説明があった。

・大人数の中で、社会性を身につけることには価値があるが、そこに身を置くのが難しい生徒も多くなっている。多様な生徒に対して多様な居場所(まなびの教室など)を提供し、取り組んでいく。

委員からは、以下の発言があった。

●光が丘中の生徒たちは、優しく、素直で、挨拶もよくできている。いじめに関しては、大人に何ができるのか、難しいところがある。(實森委員)

●集団行動がとれない生徒に対しては、まなびの教室等が支援する仕組みになっていくと思う。不登校は子どもだけの問題ではなく、親が送り出せないケースもある。(森下委員)
→家庭への支援は、児童相談所や警察のサポートセンター等関係各所との力を借りて行うのが望ましい。スクールソーシャルワーカーが入ったことで、校外の教室に通えるようになったケースもある。外部とのつながりが必要である。(校長)

協議の結果、「学校関係者評価について」は、承認不要とした。

(2) 次年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より次年度の学校運営の基本方針について、資料(7頁・令和8年度浜松市立光が丘中学校グランドデザイン)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●学校経営目標の「よいと思うこと」は、「自分が」よいと思うことなのか。それとも「みんなが」がよいと思うことなのか。(溝口会長)

→「自分」を含む「誰もが」よいと思うことです。(校長)

→それならば、「みんなが」を入れた方がよいのではないか。これだけ見ると、自分勝手な印象を与えたり、「自分はもうすでに実行しているのに」という反感を持たれかねないと思う。(溝口会長)

●「できる人」には生徒だけではなく、いろいろな人を含んでいるのがよい。

本田宗一郎の言葉はこの地元に根ざしたよい言葉だと思う。(鈴木委員)

●《地域に開かれた学校づくり》の項目から「学校だより・学校ホームページでの情報発信に努める」が消えているのはなぜか。(笹竹委員)

→生徒自身の希望や、個人情報保護の観点から、ブログ等に写真を載せることが難しくなった。月1回の学校だよりや保健だより等で対応していきたい。(校長)

●この地域は昔から、幼・小・中のつながりが深い。連携を大切にしていってほしい。(松井委員)

協議の結果、「次年度の学校運営の基本方針について」は、新年度の第1回協議会において承認することとした。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭より学校運営協議会の自己評価について、資料(8~12頁)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●評価項目4はこの形でいいと思う。(坂井委員)

●評価項目3の情報発信について、CSだよりの回覧を見ていない人がいるのではないかと。文字だけだと印象に残りづらいので、もっと目を引く工夫があるとよい。(鈴木委員)

●運営協議会の会議録がホームページに掲載されているが、そこまで見てくれる人がいるか疑問である。広報活動のよい案があればだしていただきたい。(松井委員)

協議の結果、「学校運営協議会の自己評価について」は、承認不要とした。

【その他報告事項等】

●司会の教頭から、夢育やらまいか事業のCS加算分について、次年度も引き続き、ダンス指導講師への謝礼等に活用するとして、夢をはぐくむ学校づくり推進協議会あてに、夢育やらまいか事業に対する意見書を提出する旨の説明があった。

●司会の教頭から、今後の予定として、以下の行事があるとの説明があった。

- ・令和8年2月25日(水) 学校運営協議会委員研修会
- ・令和8年3月18日(水) 令和7年度卒業証書授与式
- ・令和8年4月9日(木) 令和8年度入学式

●司会の教頭から、協議会委員の任期は3年であるが、都合により役を降りる方がいたらお知らせ頂きたい旨と、保護者代表としてPTA会長の高塚委員は、PTA会長の交代に伴い、委員も交代するため、今回が最後となる旨の説明があった。

●司会の教頭から、令和8年度の学校運営協議会開催予定日の説明があった。